

# 図書館だより

NO. 118 2007年 12月号  
(2007年12月1日発行)

はつかいち市民図書館  
電話(0829)20-0333  
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

## 図書館に行こう！！～ヤング世代の君たちに贈るブックガイド～

はつかいち市民図書館では、12月1日～12月27日の期間、13歳から18歳までのヤングに読んでもらいたい本として選ばれた本を集めて展示します。この機会に、たくさん本に触れて、自分に合った本に出会う感動を味わってみてください。同時に、図書館を身近な存在に感じ、今後の読書に役立ててくださいね。

どんな本を読んだらいいかわからない、本に興味がないというヤングのみなさんに、お勧めの本です。一冊の本を読み終える充実感は、きっと自分の力になるはずですよ。

選書(本を選ぶ)の参考にするため、ヤングのみなさんのお勧め本のアンケートを実施します。今まで読んだ本の中で、一番おもしろかった本、感動して涙した本、悩んだときに心の支えになった本など、みんなに読んでもらいたい本を教えてください。揺れ動く10代のみんなをサポートしていくヤングコーナーの充実を図っていきます。

まずは、友だちをさそって、図書館に行こう！！

## 今月の展示

### <さくらびあ展示>

- ・『さくらびあ物語』—郷土芸能に関する本—

廿日市市原地区を拠点に活動する「挑楽座」にスポットをあて、説教源氏節についての本を展示します。

### <中央展示>

- ・『ヤング向け図書』

13歳から18歳までを対象に読んでもらいたい本として選ばれたもの、人気の高い本を集めて展示します。

### <児童展示>

- 『メリー・クリスマス！』

世界各地のクリスマスの風景からやさしいサンタクロース、ちょっとどじなサンタクロースまで。クリスマスが待ち遠しくなる絵本がいっぱいです。

みなさんからの「私のすすめる本」も引き続き募集しています。ご応募お待ちしております。

# 私・図書館員のすすめる本

## 一般書

『名将・王貞治～勝つための「リーダー思考」  
心に焼きつける勝者の熱闘メッセージ』  
児玉光雄／著 783.7/オ 日本文芸社

この本は、王貞治監督の選手・監督時代の主な「語録」を取り上げ、その言葉から生き方や彼の哲学といったものを解説している。

特に「リーダー論」の話は、あらゆる人の参考になると思う。また、「本当のプロ野球選手とは何か」ということもよくわかると思う。また数々の言葉から「人生のヒント」となるものもあるので「自己啓発本」としてもおすすめしたい。特に、「指導者」と呼ばれる人にはぜひとも読んでほしい。

(図書館利用者)

## 一般書

『まほろ駅前多田便利軒』  
三浦しをん／著 F/ミ 文芸春秋

まほろ駅前で便利屋家業を営む、多田と行天はさまざまな依頼を受ける。現代の世相を反映したようなセンセーショナルな依頼は、読んでいくうちにむなしさを感じた。しかし、傷つき、苦しみ、日々葛藤しながら生きている人たちの集まりが、なぜか夢や希望に向かっているような気がした。惨たる状況、破壊されつくした人間模様のなかにあっても、なぜか一筋の光がさしている作品に、安堵した。まほろ駅前という設定は、作者の意図が表れた名称ではないだろうか。\*「まほろ」とは、優れた場所という意味もある。(図書館職員)

## 今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆☆

- 『戦後腹ペコ時代のシャッター音』赤瀬川原平/著 岩波書店 081/ア
- 『親鸞をよむ』山折哲雄/著 岩波書店 S188.7/シ
- 『日本絶賛語録』村岡正明/著 小学館 210.6/ニ
- 『東海道五十三次ハンドブック』森川昭/著 三省堂 291.5/モ
- 『はじめての裁判傍聴』井上薫/著 幻冬舎 S327/イ
- 『「感謝」と「謝罪」』相原茂/著 講談社 361.4/ア
- 『子どもが育つ江戸しぐさ』越川礼子/著 ロングセラーズ 379.9/コ
- 『いのちの記憶』岩合光昭/写真・文 世界文化社 480.4/イ
- 『美人の暮らし方』沖幸子/著 幻冬舎 S590/オ
- 『はじめての育児 最新版』主婦の友社/編 主婦の友社 599/ハ
- 『挑戦—日本郵政が目指すもの』西川善文/著 幻冬社 S693.0/ニ
- 『三原色で描く風景スケッチ』野村重存/著 旬報社 724.4/ノ
- 『松井秀喜55の言葉』松下茂典/著 東京書籍 783.7/マ
- 『日本語どっち!?!』北原保雄/著 金の星社 810.4/キ
- 『その英語、通じません!』ティム・ヤング/著 大和書房 837.8/ヤ
- 『アフガニスタンの風』ドリス・レッシング/著 晶文社 935/レ
- 『三文オペラ』ベルトルト・ブレヒト/著 長崎出版 942/フ
- 『だいにっほん、ろんちくおげれつ記』笙野頼子/著 講談社 F/シ
- 『アバノの再会』曾野綾子/著 朝日新聞社 F/ソ
- 『月のうた』穂高明/著 ポプラ社 F/ホ
- 『命に値段つけます』渡辺房男/著 実業之日本社 F/ワ

# あたらしく入った本 こどものほん

## 『どうしてクリスマスには…』

二宮由紀子文 木曾秀夫絵 文研出版 E/キ  
12月といえばやっぱりクリスマス。どうして玄関ドアにクリスマスリースを飾るの？プレゼントを交換する人が多いのは？教会にいく人がいるのは？という質問に、ユニークな答が返ってきます。

## 『100万ってどれくらい？—アメリカの数えほん—』

デビット・M.シカツ作 スティーブ・ソック絵 秋山仁日本語版監修 須美子・サウワ訳 分研出版 E/ク  
もしも、1、2、3…と100万まで休まずに数えたらどのくらい時間がかかるでしょうか？答えはおよそ23日。10億だったら、95年かかってしまいます。そんな大きい数を想像する楽しさを教えてくれる1冊です。

## 『ペーテルとペトラ』

アストリッド・リッドグレン文 クリスティナ・ディグマ絵 大塚勇三訳 岩波書店 E/テ  
ある月曜日、1年生の教室に小さな小さな男の子と女の子がやってきました。2人は学校で勉強したいというのです。クラスみんなは大歓迎で、いっしょに勉強することになりました。2人は本当によく勉強して…。

## 『グステルとタップと仲間たち』

B. プルドラ著 森川弘子訳 未知谷 943/7  
グステルは助けた野良犬を飼えるように「良い子になるから」と母親がわりのおばあちゃんに言いました。でも、グステルは相変わらず学校をさぼっていて…。いろいろな体験を通して、成長する少年の姿を描いた物語。

『世界の保存食1 果実の保存食』 谷澤容子著 こどもくらぶ編 星の環会 383/4

『西洋館を楽しむ』 増田彰久著 筑摩書房 523/7

『日本食の大研究』 PHP 研究所編 PHP 研究所 596/2

『ムジナ探偵局 榎稲荷の幽霊』 富安陽子作 おかべりか画 913/1

『なめとこ山の熊』 宮沢賢治作 あべ弘士絵 三起商行 E/7

『天女の里がえり』 君島久子文 小野かおる絵 岩波書店 E/オ

『いも』 久保秀一・埴沙萌写真 フレーベル館 E/ク

『ベッキーのクリスマス』 ターシャ・テューダ絵・文 ないとうりえこ訳 メディアファクトリー E/チ

## 新刊絵本紹介から

11月29日（木）に新刊絵本紹介を開催し、51人の参加がありました。2006年10月～2007年11月の間にはつかいち市民図書館に入った1,010冊の絵本の中から232冊を選んでご紹介しました。

今回は韓国の絵本に良い作品がたくさんありました。中でも特にお薦めは、『よじはんよじはん』です。（ユ・ソクソク/文 イ・ヨギョソ/絵 かみや にじ/訳 福音館書店 E/1）静かでのんびりとした詩の絵本です。戦時中、日本の統治下にあり日本語を話すことを強制された韓国で母語を大切にしたいと思う気持ちから作られたお話です。絵は『あいてぬぐいのおくさんと7人のなかま』でおなじみのイ・ヨギョソが1960年代の韓国をイメージして描きました。そのほか『ソルビム』（ハ・ヒョソ ヌ/絵と文 ヒョソギ ヌ/訳 セーラー出版 E/ハ）は、お正月にお母さんの作った晴れ着を着る風習を紹介した絵本ですが、絵がとても美しく、日本にはない韓国の文化のすばらしさを感じさせる絵本です。今回紹介した絵本を展示コーナーに展示しています。どうぞご利用ください。（展示期間：12/1（土）～12/27（木））

# 第1回読書会報告

はつかいち市民図書館では、初めての試みとなる「読書会」を11月21日に開催しました。11月から来年2月までの月1回、1冊の課題図書を事前に読み、当日は感想などの意見を交わす「読書会」は果たしてどんなふうになるのか、楽しみ半分、不安半分の気持ちでのスタートでした。初回ということで自己紹介をしながら、本を読んだ感想や自分の読書への思いなど多岐に渡る意見交換となりました。

講師の深川先生いわく、「読書会とは、どんな意見を言っても良い場。たとえ参加者同士、火花が散っても、会が終われば和気あいあいになれます。日々がんじがらめの生活を送っている私たちにあって、さまざまなコンプレックスから解放される時間が、読書会です。」と話されました。

今回の課題図書は、三浦しをん著の『まほろ駅前多田便利軒』第135回直木賞受賞作で、参加者から「読んで内容を理解するのに時間がかかってしまった。」「今まで、自分の好きな作家の本を中心に読んでいたので、自分の知らない世界を知れてよかった。」という意見がでました。読書会が終わる時間が近づくにつれて、参加者のみなさんは緊張した面持ちから、リラックスした表情に変わっていくのに気づきました。中には、「癒しの時間をありがとうございました。次回が楽しみです」と言って、第2回の課題図書『風に舞いあがるビニールシート』をうれしそうに借りて帰られる姿に、図書館員として、なんとも言えないうれしい気持ちになりました。4回の講座ですが、それ以後も継続して、読書会が続いていけばいいなあと思っています。

本をしっかり深く読むことで自己と向き合い、自分が変わっていく。そして、自分以外の人の意見や本音を聞くことで、自分の世界や視野が広がっていく読書。その魅力を多くの人に実感してもらいたい。そして文学は、時代を越えて残っていきます。だからこそ、その作品の良さを後世に受け継いでいくことも、読書会という草の根の読書活動の大事な役目の一つではないでしょうか。




## 12月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 休館	4	5	6	7 ◎	8 ☆
9	10 休館	11	12	13	14	15
16	17 休館	18	19	20	21	22 ☆
23	24	25 休館	26	27	28 休館	29 休館
30 休館	31 休館					

◎…ちいさいこのためのおはなし会  
 【対象】乳幼児  
 【時間】1回目 11時～  
 2回目 11時30分～  
 ※整理券を相談窓口で配布します

☆…おはなし会  
 【対象】幼児から大人まで  
 【時間】11時～  
 いずれも【場所】は  
 図書館会議室です



**年末年始休館のお知らせ**  
**12月28日(金)～1月4日(金)**  
 フックポスの容量に限りがありますので、できるだけ開館中に本をお返しくださるようご協力をお願いします。